

(様式6-1) □社会資本総合整備計画 事後評価書

1. 整備計画											
計画の名称	静岡県における安全・安心な住まいづくりの推進（静岡県地域住宅計画（防災・安全））□										
計画の期間	平成28年度 ～ 平成31年度			交付対象	静岡県						
計画の目標	次世代に継承できる安全で良質な住宅ストックを形成する。 だれもが安心して暮らせる住まいづくりを推進する。										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県における住宅の耐震化率を上げる。 ・老朽化した外壁・屋上を改修した県営住宅の棟数 										
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考	
							当初現況値	中間目標値	最終目標値		
							(H28当初)	(H 末)	(H31末)		
①	・住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数)						82%	%	95%		
②	・老朽化した外壁・屋上を改修した県営住宅の棟数 計画期間内に改修した棟数/改修が必要な棟数						0%	%	100%		
③											
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,051 百万円	A	4,051 百万円	B		C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)			
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考	
住宅		木造住宅耐震補強助成事業 (地域住宅政策推進事業)			木造住宅の耐震補強工事助成			県内全域	425		
事業数		公営住宅等ストック総合改善事業			県営住宅の全面的改善等(安全性確保)(原団地 他)			沼津市 他	3,537		
5											
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)											
計画の移行なし	○	2	△		-		備考	計画の移行あり	●	▲	3
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況											
(指標①) 旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事に対して補助金を交付することにより、住宅の耐震化が進み、災害時における住民の安全性が向上された。 (指標②) 計画期間内に改修が必要な棟数は84棟(66棟)であった。計画期間内に改修した棟数は63棟であり、必要棟数における75%(95%)の県営住宅において、安全が確保された。※()内は改修が必要な棟の見直し後数値											
II 定量的指標の達成状況	指標① (静岡県における住宅の耐震化率を上げる。)	最終目標値	95%	目標値と実績値に差が出た要因	静岡県における住宅の耐震化率は、平成30年時点で約89.3%となり、着実に耐震化は進んでいるものの、高齢等を理由に耐震補強に踏み出せない方が多く残っていることが要因と考えられる。						
		最終実績値	(H30末) 89.3%								
	指標② (老朽化した外壁・屋上を改修した県営住宅の棟数)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	75%(95%)			他事業との調整や詳細な現地調査などにより、計画期間内に改修が必要な棟数が84棟から66棟に減少したことや、入札不調・不落などが要因と考えられる。					
	指標③ ()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況											
・住宅の耐震化の進捗により、住民の生命と財産が守られるとともに、住宅の倒壊による避難路等の閉塞を防ぐことができた。(建築安全推進課)											
4. 今後の方針等											
・耐震補強に加え、建替えの助成制度も活用し、市町等と連携して引き続き耐震化を推進する。また、過去に耐震診断を行ったものの工事に進んでいない世帯に対しては、補強方法や資金計画など様々な分野の専門家を派遣する制度等を活用し、重点的に耐震化へ誘導する。さらに、高齢者に対しては、耐震化に踏み出した高齢者の事例を紹介するリーフレット等を活用し、戸別訪問やシニアクラブ等の活動場所へ向かい耐震化の重要性を丁寧に説明していく。(建築安全推進課) ・引き続き、県営住宅の外壁・屋上改修を進めるにあたり、静岡県公営住宅等長寿命化計画の見直しなどを行い、財源において事業効果の最大化に努める。(公営住宅課)											

【公営住宅課、建築安全推進課】

(1) 事業の目的

次世代に継承できる安全で良質な住宅ストックを形成するとともに、誰もが安心して暮らせる住まいづくりを推進する。

(2) 指標①：静岡県における住宅の耐震化率を上げる

昭和56年5月以前に建設された旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事を対象とした。

指標②：老朽化した外壁・屋上を改修した県営住宅の棟数

静岡県公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した外壁・屋上を改修工事する県営住宅の棟数を対象とした。

指標の達成状況

- ①平成30年度末時点での最終実績は約89.3%であり目標（95%）を達成できなかった。主な理由は高齢等を理由に耐震補強に踏み出せない方が多く残る等の課題があり、住宅の耐震化は着実に進捗しているが、目標の95%到達には、もう少し期間を要する。
- ②令和元年度末時点での最終実績は75%（改修が必要な棟の見直し後は95%）であり目標（100%）を達成できなかった。主な理由は他事業との調整や入札不調・不落などによる。

計画の成果目標		定量的指標			
		H28当初	R1末最終目標	R1末最終実績	R1末達成率
①	静岡県における住宅の耐震化率を上げる	82%	95%	89.3%(H30末)	94%
②	老朽化した外壁・屋上を改修した県営住宅の棟数	0%	100%	75% 63/84棟 (95% 63/66棟)	75% (95%)

(3) 指標に関する実施事例

① 住宅の耐震化



【住宅の耐震補強事例】
筋交い・構造用合板による補強

② 県営住宅（老朽化）の外壁・屋上改修



【改修事例：県営住宅小山団地外壁改修工事】
外壁モルタルの浮き・クラック補修、塗装改修

(4) 定量指標以外の効果発現状況

- ① 住宅の耐震化の進捗により、住宅の倒壊による避難路等の閉塞を防ぐことができた。
- ② 外壁・屋上改修工事により、県営住宅の長寿命化や安全が確保された。

(5) 今後の方針と達成見込み

- ① 目標である耐震化率95%の達成に向けて、耐震補強に加え、建替えの助成制度も活用するほか、関係機関や市町等と連携して引き続き耐震化を推進する。
- ② 引き続き、県営住宅の外壁・屋上改修を進めるにあたり、静岡県公営住宅等長寿命化計画の見直しなどを行い、限られた財源において事業効果の最大化に努める。